

## I.2 調査の内容

### 1. EASS プロジェクトの概要

EASS (East Asian Social Survey) プロジェクトは、東アジアに特有な問題や関心に基づいて、共通の設問を設定し、東アジア域内における国際比較調査・分析を行うプロジェクトである。国際比較調査において欧米の研究者が中心になりがちの中で、EASS では東アジアの研究者自身が共同で、テーマ設定から調査票の作成、調査の実施にあたっている。

EASS プロジェクトは、2003年6月に大阪商業大学において開催した「JGSS 国際シンポジウム 2003」を契機として立ち上がった。日本では JGSS (Japanese General Social Surveys: 大阪商業大学 JGSS 研究センター) チームが参加している。日本以外の各国・地域からは、韓国・台湾・中国の下記のチームが参加している。

韓国: KGSS (Korean General Social Survey: 成均館大学 Survey Research Center)

台湾: TSCS (Taiwan Social Change Survey: 中央研究院社会学研究所)

中国: CGSS (Chinese General Social Survey: 中国人民大学中国調査与数据中心)

EASS 2018 企画時点

EASS プロジェクトでは、独自の国際比較調査を新たに作り出すのではなく、それぞれの国・地域ですでに継続的に実施されている社会調査の中に、共通の設問群 (モジュール) を組み入れることで、国際比較を行っている。2006年を初めとしてその後2年に1度、継続的にこのモジュールを組み込む計画で始まった。2006年には「東アジアの家族 (Families in East Asia)」、2008年には「東アジアの文化とグローバリゼーション (Culture and Globalization in East Asia)」、2010年には「東アジアにおける健康と社会 (Health and Society in East Asia)」、2012年には「東アジアにおける社会的ネットワークと社会関係資本 (Network Social Capital in East Asia)」、2014年・2015年には「東アジアにおけるワークライフ (Work Life in East Asia)」のモジュールを組み込む調査を各国・地域で実施してきた。4カ国・地域の調査はいずれも GSS を範とする継続調査であり、これらを活用することで、国際比較調査が効果的・安定的に実施されることが期待される。

EASS 2018 は、第7回目の調査であり、テーマは、EASS 2008 で対象とした「東アジアの文化とグローバリゼーション」をもう一度取り上げた。この10年間の変化をとらえるためである。EASS プロジェクトの参加チームは、2016年11月のソウル会議より開始し、以降、台北・北京・ソウルでのミーティングやEメールでの議論を重ね、2017年6月に EASS 2018 のモジュールを確定させた。

EASS 2018 では、各チームがこのモジュールを組み込んだ全国調査の実施年が異なる。KGSS は2018年6~10月、TSCS は2018年7月~2019年2月に、CGSS は2018年6~12月の調査に組み込んだ。

また、EASS 2018 のモジュールに組み込まれた「JGSS2017 グローバリゼーション (JGSS-2017G)」及び「JGSS2018 グローバリゼーション (JGSS-2018G)」は、文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業機能強化支援」と大阪商業大学の支援を受けて、それぞれ2017年11月~12月、2018年11月~12月に実施した。JGSS-2017G と JGSS-2018G のデータの整備は、日本学術振興会「課題設定による先導的人文学・社会科学研究推進事業 人文学・社会科学データインフラストラクチャー構築推進事業」(JPJS00218077184) により実施した。

これらの調査が実施された後、参加チーム間のやり取りを経て、データセットを作成し、クリーニングを重ねて、現在公開に向けた取り組みを進めている。次頁の表は、EASS 2018 のテーマが決定してから、本書の刊行に至るまでの過程をまとめたものである。

表 EASS 2018 Globalization Module の作成から Codebook の刊行まで

|                         | 会議名                                  | 協議内容など   |
|-------------------------|--------------------------------------|--|
| 2016.11.10-11           | EASS General Meeting (ソウル)           | 各チームの進捗状況を共有<br>[JGSS参加メンバー:岩井(紀)・宍戸・佐々木]  |
| 2017.4.25               | JGSS                                 | 文部科学省「特色ある共同研究拠点の整備の推進事業 機能強化支援」に採択され、JGSS-2017G/2018G (グローバルバージョン)の調査時期・方法を決定   |
| 2017.6.16-17            | EASS General Meeting (大阪)            | 各チームの進捗状況を共有、EASS2018グローバルバージョンモジュールが確定。<br>[JGSS参加メンバー:岩井(紀)・仁田・岩井(八)・宍戸・佐々木・孟・吉野]  |
| 2017/10/31              | European Social Survey(ESS)からの提案     | 9月上旬にJibumがロンドンでのESSの会議に呼ばれた際に、共通設問を入れないかとの話があった。<br>フォローアップメールによると、ESSの「環境とエネルギー」に関する設問の追加に関する提案。<br>CGSS:2018EASSモジュールには入れないが、2019年の国内モジュールへの追加を検討すること(Yang-chih Fuの返答)<br>JGSS:2018EASSモジュール(2017G)と2018Familyモジュールは既に確定済みのため、2019年のモジュールの追加を検討する旨回答。 |
| 2017.11-12              | JGSS-2017G実施<br>(EASS 2018家族モジュール含む) | 調査地域: 全国<br>調査対象: 20~89歳の男女1,500人<br>抽出方法: 層化2段無作為抽出法<br>調査方法: 留置法   |
| 2018.4.14-29            | TSCS                                 | プリテスト実施: 金門と連江以外の地域、18歳以上男女150人、層化4段確率比例抽出法、面接調査法(PAPI)  |
| 2018.6                  | TSCS                                 | TSCS-2018調査票(グローバルバージョンモジュール)の確定   |
| 2018.6.28-10.5          | KGSS 2018実施                          | 調査地域: 全国<br>調査対象: 18歳以上の男女2,400人<br>抽出方法: 層化4段無作為抽出法<br>調査方法: 面接法  |
| 2018.7.29-<br>2019.2.28 | TSCS 2018実施                          | 調査地域: 全地域<br>調査対象: 18歳以上の男女4093人<br>抽出方法: 層化4段無作為抽出法<br>調査方法: 面接法  |
| 2018.8-11               | CGSS 2018実施                          | 調査地域: 全地域<br>調査対象: 18歳以上の男女6,000人<br>抽出方法: 層化3段無作為抽出法<br>調査方法: 面接法   |
| 2018.10.26-27           | EASS General Meeting(大阪)             | 各チームの進捗状況を共有、E18のデータ統合とクリーニングは、JGSSが担当することを決定。<br>[JGSS参加メンバー:岩井(紀)・仁田・岩井(八)・宍戸・孟・竹本]  |
| 2018.11-12              | JGSS-2018G実施<br>(EASS 2018家族モジュール含む) | 調査地域: 全国<br>調査対象: 20~89歳の男女1,200人<br>抽出方法: 層化2段無作為抽出法<br>調査方法: 留置法   |
| 2019.8.27               | General Meeting (北京)                 | E18のデータは、3チームともクリーニングを済ませて遅れる状態  |
| 2019.11.30              | KGSS                                 | KGSSからデータファイル到着  |
| 2019.12.18              | CGSS                                 | CGSSからデータファイル到着  |
| 2019.12.19              | TSCS                                 | TSCSからデータファイル到着  |
| 2019.12.20              | データ統合                                | EASS2018統合データ(暫定版)   |
| 2020.11.19              | CGSS                                 | 調査票到着  |
| 2021.01.25              | JGSS                                 | データのエラーチェックと修正   |
| 2020.12.4               | [基礎集計表・コードブック関連資料入手]                 | JGSSから各チームに「基礎集計表・コードブック」の作成に必要な関連資料(メンバー表・Study Description Form・Study Monitoring Questionnaire・対応表・各チームの調査票原票・原票の英訳版)の送付を求めた(12/4)→KGSSが提出(2/1)、TSCSが提出(2/13)→コードブック作成開始   |
| 2021.1.27-<br>2021.2.13 | データクリーニング                            | JGSSが統合データを各チームに送信(1/27)→KGSSにデータの論理エラーを指摘(1/27)→KGSSから修正データを提出(2/1)、TSCSにデータの論理エラーを指摘(1/27)→TSCSは修正データを提出(2/13)   |
| 2021.2-3                | データ統合とクリーニング                         | 4チームのデータを統合し、統合データのクリーニングを開始   |
| 2021.3.31               | 本書のウェブ掲載                             | 『East Asian Social Survey: EASS 2018 Culture and Globalization Module Codebook』大阪商業大学JGSS研究センター  |

## 2. EASS 2018 の調査項目の概要

EASS 2018 モジュールでは、以下の項目について尋ねている。

- 文化接触：日本アニメ、中国映画、韓国ドラマの視聴頻度
- 東アジアの儀礼：縁起の良い日
- 価値観：性別役割分業観、父親の権威、集団志向（多数派への同調、協調性重視）、内集団志向（縁故採用、同郷意識）、権力格差（上司への服従、有能なリーダー任せ）、不確実性の回避、リスク・テイキング
- 国際問題への関心：話題にする頻度、海外ニュースを得るメディアの種類
- 社会的ネットワーク：家族親類以外で1日に接する人の数（電話、手紙、メールを含む）
- 訪問経験/知人のいる国・地域：中国、韓国、台湾、東南アジア、ヨーロッパ、北アメリカ、その他
- 社会的距離感（同じ職場で働くことに抵抗がある/近所に住むことに抵抗がある/親類になることに抵抗がある）：中国、韓国、台湾、東南アジア、ヨーロッパ、北アメリカ
- 外国人労働者の増加・外国人花嫁の増加に対する賛否
- グローバル化とナショナリズム：外国製品の輸入制限、国益の追求、文化接触による固有の文化の損傷
- グローバル化の影響についての評価：グローバル化による自国の経済・自国の雇用機会・自国の環境への影響に対する評価
- 英語能力：短い記事の読解、会話、手紙の作成
- 外国での5日間以上の教育・研修経験
- 外国企業とのかかわり：外資系企業勤務

このなかで、EASS 2018 で新たに加えた項目は、以下の項目である。

- 東アジアの儀礼：先祖や親族の墓参り、幸運を願いに神社や寺などを参詣、縁起の良いものや魔よけを身の回りにおく

一方で、EASS 2008 の項目のうち、E18 で削除した項目は、以下の項目である。

- 東アジアの儀礼とその多様性：姓名判断
- 友人に求める資質 (Preferred Qualities of Friends)：正直、責任感、頭脳明晰、教養、権力、裕福、忠実、思いやり
- 東アジアのアイデンティティ：居住地域・国家・東アジアへの愛着
- 娯楽：好きな音楽（クラシック、ロック、ジャズ・ブルース、ポピュラー音楽、伝統音楽など）
- 外国での性風俗関係の娯楽を経験：享受した人が周りにどのくらいいるか、経験した地域
- 社会的ネットワーク：新年の挨拶を交わす家族・親類の数、新年の挨拶を交わす人数(家族・親類以外)、日常的に接する家族・親族の数、挨拶を交わしたり・日常的に接する人の職業

このほか、対象者や配偶者、対象者の両親の基本属性に関する各国・地域共通の変数 (Standard Background Variables) として、以下のものを尋ねている。

- 対象者について：性別、年齢、婚姻上の地位、最終学歴、教育年数、健康状態、幸福感、就労状況、雇用形態、フルタイム／パートタイム、常時雇用／臨時雇用、営利組織／非営利組織、官公庁・民間、週就労時間、現職（最終職）の ISCO2008 職業コード、年収（主な仕事・仕事以外（JGSS は主な仕事のみ）、世帯収入、信仰する宗教、自分の位置する階層（10 段階）、相対的世帯収入、地域ブロック、自己判断による居住地域の規模
- 世帯：人数、世帯員、世帯収入
- 配偶者について：年齢、最終学歴、教育年数、就労状況、雇用形態、フルタイム／パートタイムの別、常時雇用／臨時雇用、営利組織／非営利組織、官公庁・民間、週就労時間、ISCO2008 職業コード、年収
- 父親・母親：最終学歴

岩井 紀子